

数学概論2 演習
2007年5月24日分
中村 徹

[中村 8] X_λ ($\lambda \in \Lambda$) を位相空間とし,

$$X = \prod_{\lambda \in \Lambda} X_\lambda$$

をその直積空間とする. このとき $a = (a_\lambda) \in X$ に対して X の部分集合 A を

$$A = \{x = (x_\lambda) \mid x_\lambda \in X_\lambda (\lambda \in \Lambda), \text{有限個の } \lambda_1, \dots, \lambda_n \text{ を除いて } x_\lambda = a_\lambda\}$$

で定めると, A は X で稠密であることを示せ.

[中村 9] X を位相空間, \mathcal{B} を X の基とする. \mathcal{B} の任意の元が X の閉集合となるときの, X は T_3 空間となることを示せ.

[中村 10] \mathbb{R} 上の部分集合族 \mathcal{B} を

$$\mathcal{B} = \{[a, b) \mid a, b \in \mathbb{R} \text{ かつ } a < b\}$$

で定める.

- (1) \mathcal{B} は練習問題 10 の条件 (i), (ii) を満たすことを示せ. これにより, \mathcal{B} を基とする \mathbb{R} 上の位相 \mathcal{O} が定まる.
- (2) 位相空間 $(\mathbb{R}, \mathcal{O})$ においては 1 点集合 $\{x\}$ ($x \in \mathbb{R}$) は閉集合であることを示せ.
- (3) 位相空間 $(\mathbb{R}, \mathcal{O})$ は正則空間であることを示せ.

[中村 11] f, g を位相空間 X からハウスドルフ空間 Y への連続写像とする. このとき

$$A = \{x \in X \mid f(x) = g(x)\}$$

は X の閉集合であることを示せ.